

令和7年度 国富町立八代小学校 学校評価

【学校経営ビジョン】 自立・自走の力を伸ばし、「優しさとたくましさを持ち、知・徳・体の調和のとれた子どもを育成」するために、地域と一体になった教育活動を展開する「チーム八代」の一員として全職員が組織的・協働的に取り組む学校を基軸としながら、「働き方の意識改革」を行うことで教職員・児童・地域のウェルビーイングの向上を目指す。□

【評価・評定の基準】
 4点：よい 3点：だいたいよい
 2点：もう少し 1点：よくない

教育的課題	重点指導事項	評価項目	評価（3点以上の割合）↓			評価（得点）4点満点↓			自己評定	自己評価の考察 （○成果 ◎改善策）	学校関係者 評定	学校関係者 評価コメント
			児童	保護者	職員	児童	保護者	職員				
学力向上対策の充実	分かる授業作り	① 学校は、分かる授業を目指し、児童に達成感や成就感を得させながら学習をさせている。	97%	95%	92%	3.7	3.4	3.4	3.1	○ 八代小「ひなたの学び」の授業スタイルの確立やICT活用、教材・教具の準備など様々な手立てを講じた結果、児童が学習に落ち着いて取り組み、児童同士での学び合いを深めることにもつながった。 ○ スキルアップタイムにおいて、個々の進度に合わせて進められるデジタルドリルを活用した。児童は意欲を持って自分の課題と向き合い、繰り返し問題に取り組む姿が見られるようになった。 ◎ 家庭での学習を充実させるために、今後も保護者と連携を図り、タブレットを活用したりしながら取組を進めていく。 ◎ 図書委員会の積極的な活動により、読書に取り組む環境が整い、各学年の貸し出し読書目標を達成しようとしているが、読書の習慣化までには至っていない児童もいる。今後は、電子図書の活用も含めて、さらに家庭との連携を深め、読書意欲の向上に取り組んでいく。	2.8	・児童が達成感を感じる活動が成果を上げている一方で、個別学習力の定着や家庭での取組といった点でまだまだ課題があるようだ。 ・宿題の配信など今の時代に合った学びのスタイルを積極的に取り入れているのは良い。しかし、配信は早めにしてほしい。 ・宮崎県は、県として読書に力を入れていると聞いているが、読書への関わりが低い児童の原因が分かると、これからの取組の1つの方向になるのではないかと。 ・読書の習慣化には、読み聞かせなど児童に本の面白さを伝える機会を多くしてはどうか。
	学力の定着と向上	② 児童に、基本的な学力（読み・書き・計算）が身に付いてきている。	77%	90%	85%	3.1	3.3	2.9				
		③ 児童は、家庭での学習にしっかりと取り組んでいる。	84%	76%	62%	3.3	3.0	2.6				
	基本的な学習習慣の定着	④ 児童は、先生や友達の話をよく聴いて、学習に取り組んでいる。	84%	79%	77%	3.1	3.1	2.9				
	特別支援教育の充実	⑤ 学校は、一人一人が存在感をもてる教育を行っている。	88%	87%	100%	3.5	3.2	3.2				
	読書意欲の向上	⑥ 児童は、進んで読書に取り組むことができている。	55%	27%	69%	2.8	2.1	2.9				
命を尊ぶ教育の充実	基本的な生活習慣の定着	⑦ 児童は、なほはちを忘れず、5つの無言の場など学校の決まりを守って生活している。	84%	72%	85%	3.2	2.9	2.8	3.2	○年間を通じ、交通安全教室や地区児童会での継続的な指導により、児童一人一人の「命を守る意識」が高まりを見せている。今後は、登下校時の安全確認の徹底などの取組を行いさらなる向上を図りたい。 ◎11月の月目標「思いやりのある行動をしよう」に基づき、全校でスクールワイドPBSを推進した結果、児童の人権意識が高まりが見られた。今後は、学級指導に加え、道徳科や特別活動等を通じて「思いやりのある行動」の定着を図るべく、継続的な指導に努めていく。 ◎学級会など、自分の考えを表現できる機会を意図的に数多く設定していく。そこで、多様な意見に触れ、自分なりの根拠を持って考えを形成できる児童の育成に努め、互いの良さを認め合える対話的な学びを推進していきたい。	3.6	・人権意識・危機予知等能力の育成の面で、児童だけでなく職員の評価も高く、学校全体での取組の結果だと感じた。 ・人権教室の活用によって、いじめについて一人一人が自覚できる授業を設けてほしい。 ・⑩について、保護者の評価が低い原因が分かると、今後の取組に繋がるのではないかと。 ・児童の「伝える力」がもっと伸びると良い。 ・「伝え方」の学びについても取り組んでほしい。
	危険予知・回避能力の育成	⑧ 児童は、スクールバスや通学路での安全やマナーをきちんと守り、自分の身を守るための判断力や行動の仕方を身に付けてきている。	93%	90%	100%	3.7	3.2	3.2				
	人権教育の推進	⑨ 児童は友達や周囲の人に思いやりのある行動や正しい言葉遣いができている。	90%	78%	100%	3.4	3.0	3.2				
	特別活動、道徳の時間の充実	⑩ 児童は、自分の考えをもち、話し合い、自分自身のことを見つめることができる。	82%	68%	85%	3.3	2.8	2.9				
	積極的な生徒指導の推進	⑪ 先生は、子ども一人一人を大切にし、子どもに関する相談に適切に応じている。（いじめへの対応を含む）	89%	91%	100%	3.7	3.3	3.3				
	望ましい教育環境の整備	⑫ 児童の学習環境や学校の環境美化が整っている。	92%	90%	92%	3.5	3.3	3.0				
教育の充実	基礎体力・運動能力の向上	⑬ 学校は、子どもの体力を高める取組に努めている。	92%	86%	92%	3.5	3.1	3.2	3.2	○体力テストの結果をもとに実施した、夏休み体力向上プロジェクトにより、親子で運動に対する意識を高めることができた。 ○栄養教諭との連携を図ることで、各学年の食に関する指導の充実を図ることができた。 ○養護教諭による給食時の歯磨き指導により、低学年の歯磨きに対する意識を高めることができた。 ○学校保健委員会と連動させ、保護者も児童と一緒に考え取り組むメディアコントロールの活動ができた。 ◎体力テストの結果が毎年低い種目が固定化している。職員で共有し、学校全体として統一した準備運動に取り組んでいく。 ◎メディアコントロールについては、より一層家庭と連携して行っていく。 ◎むし歯治療について、家庭間での意識に温度差があるので、今後も継続して啓発を行っていく。	3.0	・家庭の習慣によるところが大きいので、保護者と学校との意識の違いがあるのだろうが、家庭でできない部分を学校で学ぶことで蓄積されていくのだと感じた。 ・バス通学により安心安全であるかわりに、体力、特に持久力が低下していると思われる。また、ラジオ体操が正確に行われていないのが気になった。 ・体力向上やメディアコントロールについては、大人（親）の意識を変える必要があると感じる。
	保健・衛生習慣の定着	⑭ 児童は、メディアコントロールを意識し、「早寝・早起き・朝ご飯」の基本的な生活習慣が身に付いてきていると思える。	81%	69%	77%	3.2	2.9	2.8				
		⑮ 児童は、「手洗い・うがい」などの保健衛生的な習慣が身に付いてきていると思える。	95%	74%	100%	3.5	3.0	3.2				
	望ましい食習慣の形成	⑯ 児童は、「食」に関心をもち、望ましい食生活の習慣が身に付いてきていると思える。	83%	87%	100%	3.3	3.3	3.2				
	むし歯治療率の維持・向上	⑰ 児童は、歯磨きや早期のむし歯治療を心がけて、歯・口腔の健康維持向上に努めている。	91%	78%	85%	3.5	3.1	3.0				
地域に開かれた学校づくり	家庭・地域との連携体制確立	⑱ 学校は、家庭や地域の教育力（人材や自然等）を生かし、家庭や地域との連携体制づくりに努めている。		95%	92%		3.4	3.5	3.5	○地域や保護者の協力により、生活科や総合的な学習の時間などで、自然や地域のよさを学ぶ体験活動を行うことができた。また、地域参画参観日を開催し、授業公開や交流活動を通して教育活動への理解を深める契機となった。 ○校長室だよりの発行、ホームページの定期更新また、学校メールの活用によって積極的な情報発信ができた。 ◎学校運営協議会や地域コーディネーターと連携して、地域学校協働本部の組織づくりをさらに進めていく必要がある。	3.8	・開かれた学校・地域の中の学校というイメージが広がってきていると思う。 ・地域参画参観日では、外部の方が参加されていて、児童も自主性があってとても良かった。 ・児童の思いや願いのために地域がもっと積極的に動いてよいと思う。
	ふるさとのよさを学ぶ活動の充実	⑲ 学校は、家庭や地域と連携した活動を行ったり、地域のよさを学ぶ体験活動を取り入れたたりしている。		96%	100%		3.4	3.5				
	家庭・地域への情報発信	⑳ 学校は、保護者・地域への情報発信を、よく行っている。		92%	100%		3.3	3.6				
総評と次年度に向けて		<p>【本年度の取組に対する総評】 本年度は、昨年度の課題を踏まえ、学校経営ビジョンの達成に向けた取組を計画・実践した。どの項目も概ね3点以上となり、目標を達成している。評価が低かった項目については、取組を精選し、重点的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>【次年度に向けて】 次年度も八代中学校区コミュニティ・スクールとして、中学校、保護者、地域と目標を共有し、連携して教育活動を行っていくとともに、学校経営ビジョンの達成に向けた取組を整理・精選し、課題解決に向けて重点的に取り組む必要がある。</p>										